

## 2026年度 前期教育計画

面接指導施設名	科学技術学園高等学校			
教科	科目	単位数	履修上の留意点	担当者
数学	数学Ⅱ-1	2	数学Ⅰ習得済みならば履修可能	本校教員・スクーリング講師
指導目標				
方程式・式と証明, 図形と方程式, 三角関数について理解させ, 知識の習得を図る。				
教科書名	数学Ⅱ Standard	副教材等	本校作成学習書	
面接指導 (スクーリング)	全実施時間数 2 時間	レポート添削指導	全 6 回	
	標準面接時数 2 時間	メディア減免時数	1 時間	
定期試験	あり	年間・ <u>学期</u>	1 回	評価割合
				定期試験 70% 添削課題 30%
評定算出方法	評点が100～85点は5、84～70点は4、69～50点は3、49～35点は2、34～0点は1			

レポート添削課題		
回数	学習内容	提出期限
1	3次式・二項定理・虚数・解と係数の関係	5月10日
2	因数定理	5月25日
3	相加相乗平均	6月10日
4	点と直線・円	6月25日
5	三角関数	7月10日
6	加法定理	7月25日

面接指導(スクーリング)		
時間数	学習内容	実施日
1	3乗の展開と因数分解、虚数の四則演算、解と係数の関係、因数定理、高次方程式の解法、等式・不等式の証明、相加・相乗平均の関係	7月30日
2	2点間の距離、内分点と外分点、円の方程式、軌跡、不等式の表す領域、一般角、弧度法、三角関数の性質、三角関数を含む方程式、加法定理、三角関数の合成と方程式	8月3日

メディア減免 視聴メディアおよび視聴項目		
配信回数	学習内容	視聴時期の目安
1	整式の乗法と因数分解	~4/15
2	二項定理	
3	整式の除法	
4	文字式とその計算	
5	複素数とその演算	
6	解の公式	
7	解と係数の関係	
8	因数定理	4/16~5/2
9	簡単な高次方程式	5/3~5/20
10	恒等式	
11	不等式の証明	

12	直線上の点の座標	5/21~6/6
13	平面上の点の座標	
14	直線の方程式	
15	2直線の関係	
16	円の方程式	
17	円と直線	
18	不等式の表す領域	
19	連立不等式の表す領域	
20	一般角	
21	弧度法	
22	三角関数	
23	三角関数のグラフ	
24	加法定理	6/28~7/15
25	加法定理の応用・三角関数の合成	

試験		
試験種別	試験範囲	試験日
本試験	レポート添削課題 第1回目~第6回目	8月19・20日
追試験	レポート添削課題 第1回目~第6回目	8月25・26日